

# 校内研究通信

令和3年10月11日  
福生市立福生第六小学校  
研究推進部通信 Vol. 2

## 研究主題

学びに向かう力を育むための指導の在り方を考える  
～「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を通して～

昨年度の研究アンケートで、児童の粘り強さや、最後まであきらめずに取り組むことに課題があった。そのため、資質・能力の三観点のうち、「主体的に学習に取り組む態度」の向上を図ることとした。「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を生かしながら研究を進めることとした。

10月13日（水）

第二回研究授業（算数科研究グループ）

授業者及び会場  
6年1組 窪田 洋一 主任教諭  
6年2組 高野 圭 主任教諭  
算数科室 小林 久仁子主任教諭

教科名・単元名 算数科 「円の面積」

※先生方は、どの教室で参観していただいても大丈夫です。自由に入出入りして構いませんが、感染症対策のため、密にならないようお気を付け下さい。また、同時にZoomでの参観もできます。（Zoomの部屋は3-1、3-2、5-2を予定しています。）

## 当日の流れ（特別時程）

12:45 給食終了・下校開始  
13:00 完全下校  
※授業開始時刻に間に合うよう、速やかな児童の完全下校に御協力をお願いします。

13:15～13:20 学習の準備

13:30～14:15 研究授業

14:20 6年生下校

14:25～14:55 協議会（図書室）  
学校長 挨拶

研究協議

14:55～16:00 指導講評

講師 東京都教育庁指導部 義務教育指導課  
指導主事

宮西 真 先生

謝辞 福生市立福生第二中学校長 小出 宏 先生

### 出席される先生方

東京都教育委員会より 宮西 真 指導主事  
福生市教育委員会より 古川 裕平 指導主事  
福生市学力向上推進委員会より  
福生第二小学校 湊 仁 校長  
福生第二中学校 小出 宏 校長  
福生市小中学校より1名ずつ（9名）  
福生第二中学校より4名

### 協議の視点

発展○新たな公式を基にすることで、児童が既習事項を振り返り、円の公式のしくみについて考えることができたか。

○「個人→グループ→個人」と考える時間を設定することが、自分の表現を高めることにつながったか。

### 標準・補充

○既習内容や前時の振り返りを行うことで、円の公式のしくみについて考えることができたか。

○タブレット端末のアニメーションを活用したことが、自分の表現を高めることにつながったか。

## 授業内容・協議会について

教科 算数科 単元名 円の面積

本時の目標 ○円の面積の求め方について、図形を構成する要素などに着目して、既習の求積可能な図形の求め方を基に考えたり説明したりすることができる。

【思考・判断・表現】

○円の面積を求める公式をつくる際に、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

本時のめあて

発展…円の面積はなぜ「半径×半径×3.14」で求められるのだろうか。

標準・補充…円の面積を求める公式を考えよう。

目指す児童像

「自らの学習を調整しながら、粘り強く、課題に取り組むことができる子」

めざす児童像に迫る手だて

### ①既習事項の活用

- ・三角形や四角形等の面積を求める公式を活用して、円の面積を求められるよう、既習事項の復習をする。
- ・円の求積公式を活用して、円を含む複合図形の求積方法に生かせるようにするために、アニメーションや色紙等を使って実際に操作して考えさせる。

### ②自分の考えを説明する

- ・自分の考えた求積方法を分かりやすく説明し、伝えることができるようにするために、ICTを活用し発表しやすくなるよう授業構成の工夫をする。
- ・自分の考えを深めたり、分かりやすく友達に説明したりするために、話合いの活動を行う。また、ICT機器を用いて発表や話合いが行いやすくなるような場を設定する。

### ③筋道立てて考える

- ・円や円を基にした複合図形の面積の求め方を考える際、既習内容を生かして具体的な解決方法を見いだすことができるようにする。
- ・円を基にした複合図形の求め方を考える際、既習内容を振り返ることで、どのように計算すればよいのか計画を立てやすいようにする。その際、ICT機器を活用することで、思考しやすくするための手だてとする。

\*\*協議について\*\*

\*短冊は3色あります。

グループでなく、各自で書いてください。14:25頃までに記入してください。

青…よかった点

赤…改善点

黄…質問等